



株式会社アドバネクス

2014年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2013年11月8日

本資料は2013年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

主な内容

1. 2014年3月期第2四半期連結業績概要
2. 2014年3月期通期見通し

1-1. 第2四半期連結業績概要

(単位: 百万円)

	2013年3月期 2Q	2014年3月期 2Q	対前期比増減		予想 (8月9日 公表)	対予想 増減(率)
			額	率		
売上高	12,054	13,358	1,304	10.8%	13,100	2.0%
営業利益	242	338	96	39.9%	390	△13.3%
営業利益率	2.0%	2.5%	(0.5%)	—	3.0%	—
経常利益	95	294	199	208.4%	350	△16.0%
経常利益率	0.8%	2.2%	(1.4%)	—	2.7%	—
四半期純利益	127	266	138	108.5%	240	10.8%
四半期 純利益率	1.1%	2.0%	(0.9%)	—	1.8%	—

1-2. 第2四半期連結業績のポイント

◆増収・増益

自動車向けの販売増加や円安の影響で、連結売上高と営業利益が前年同期に比べ増加。為替差益の発生に伴い、経常利益は 3.1倍に増加。四半期純利益も 2.1倍に増加。

◆売上高は国内減少、海外増加

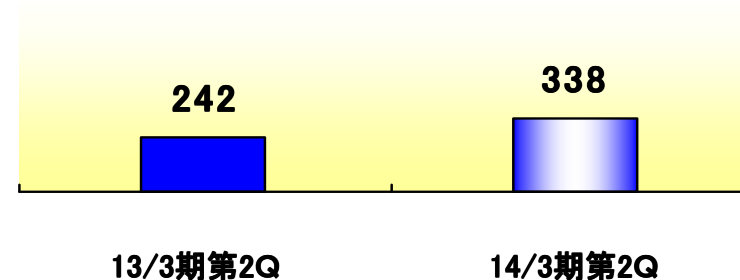
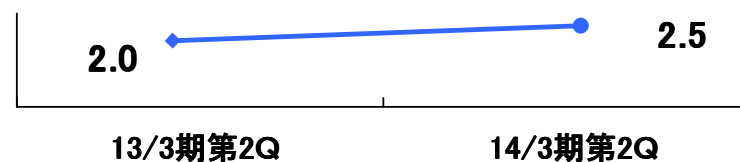
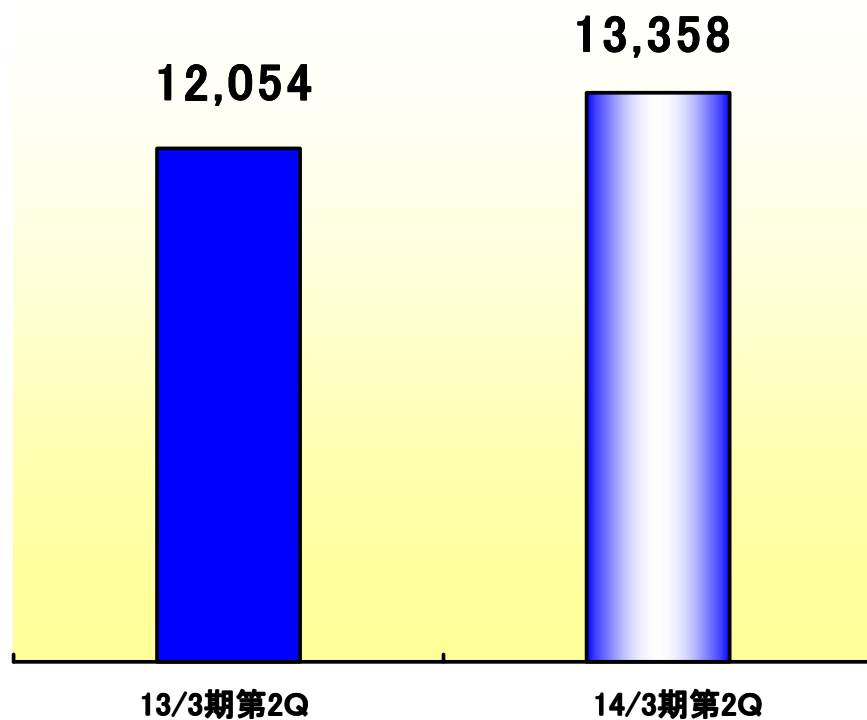
ヒンジ事業の縮小に加えて、プラスチック事業において顧客企業の海外生産移転に伴い、国内売上高が前年同期よりも減少。他方、中国やアジアにおいて、自動車向けやAV機器向けの売上高が増加したことや、英国において医療機器向けの売上高が増加したことから、海外売上高は前年同期に比べて増加。

1-3. 第2四半期業績推移(連結)

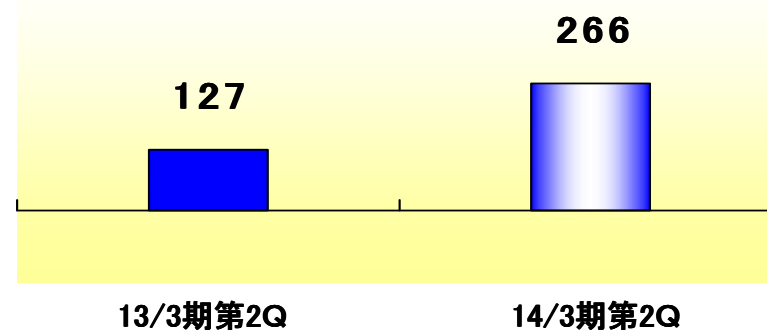
売上高

(単位:百万円)

営業利益・利益率



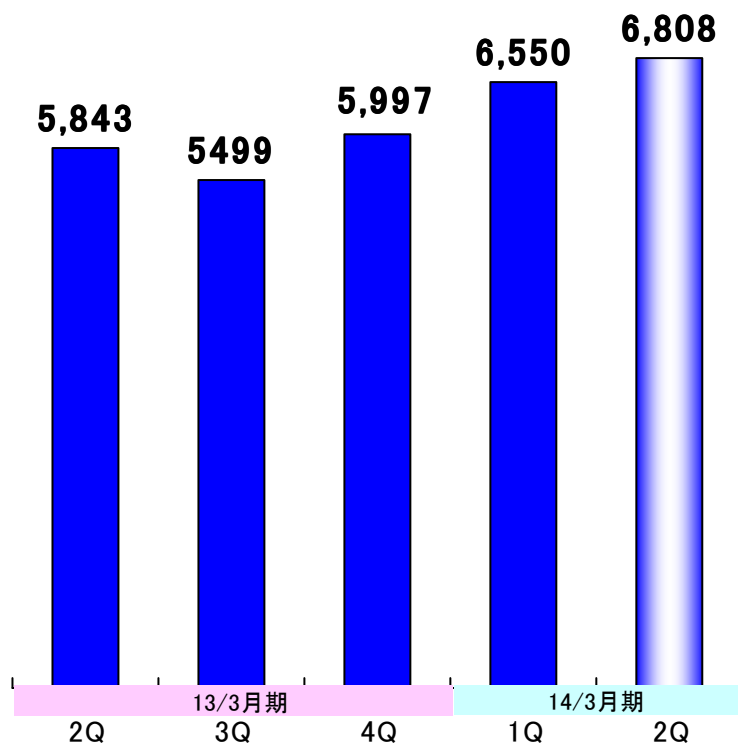
四半期純利益



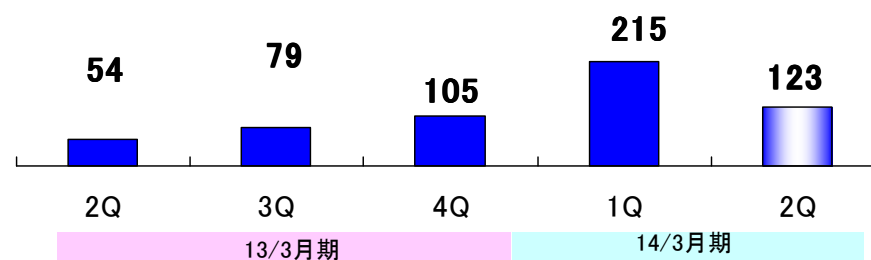
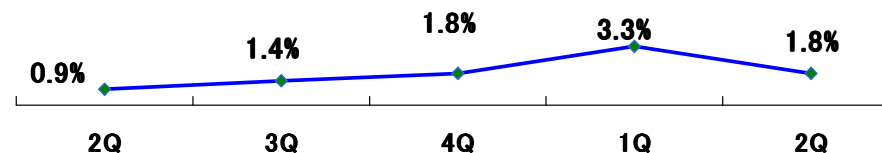
1-4. 四半期別業績推移(連結)

売上高

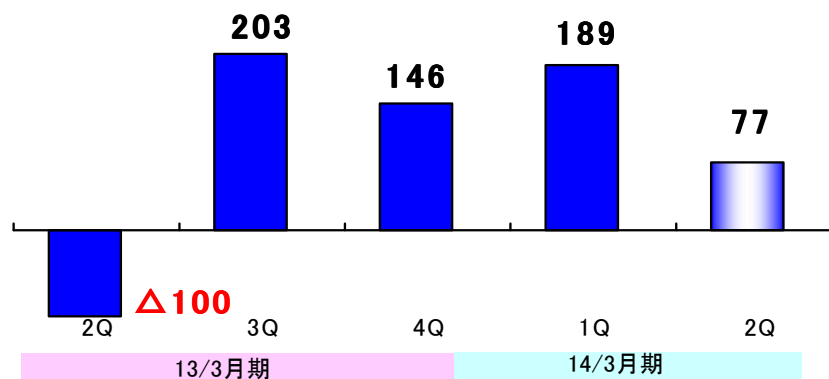
(単位: 百万円)



営業利益・利益率



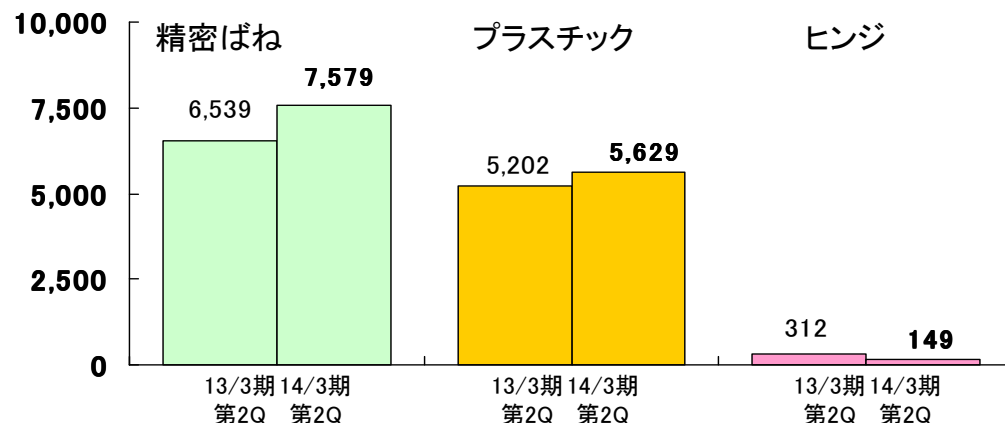
当期純利益



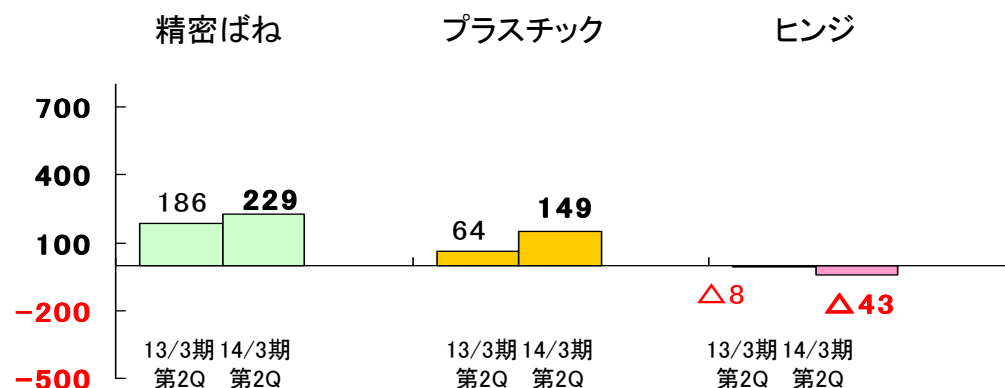
1-5. 事業別売上高・セグメント利益

売上高

(単位: 百万円)



セグメント利益



<前第2四半期からの変動要因>

精密ばね

- ・国内はOA機器向け等の売上が減少したものの、自動車向けの売上が増加。コスト削減により、利益が大きく改善し黒字化。
- ・海外は中国とアジアにおいて自動車向けやOA機器向けの売上高が増加。英国では医療機器向けの売上が増加。

<売上: +15.9%、セグメント利益: 43百万円増加>

プラスチック

- ・国内は顧客の海外生産移転に伴い売上高が減少。
- ・海外はマレーシアでAV機器向けの売上が伸びたほか、中国やベトナムで自動車向けの売上が増加。
- ・国内で利益が減少したものの、アジアで利益が増加。

<売上: +8.2%、セグメント利益: 85百万円増加>

ヒンジ

- ・携帯電話向け事業の縮小に伴い、売上が減少。
- ・固定費負担により、損失額が増加。

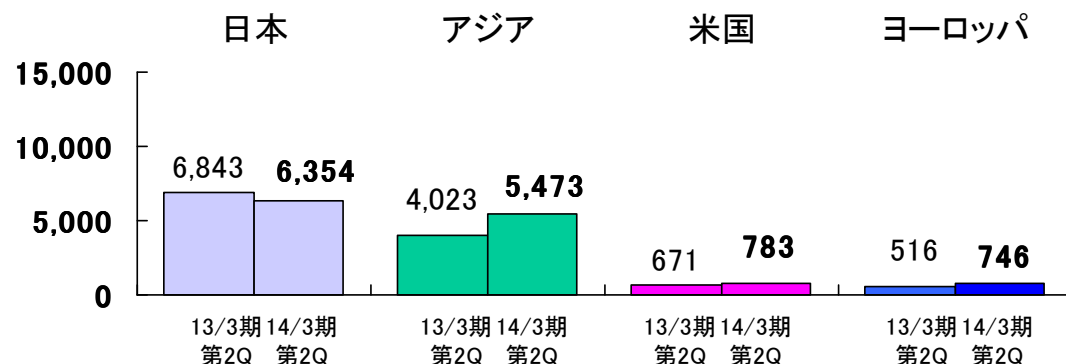
<売上: △52.0%、セグメント損失: 34百万円増加>

1-6. 所在地別売上高・セグメント利益

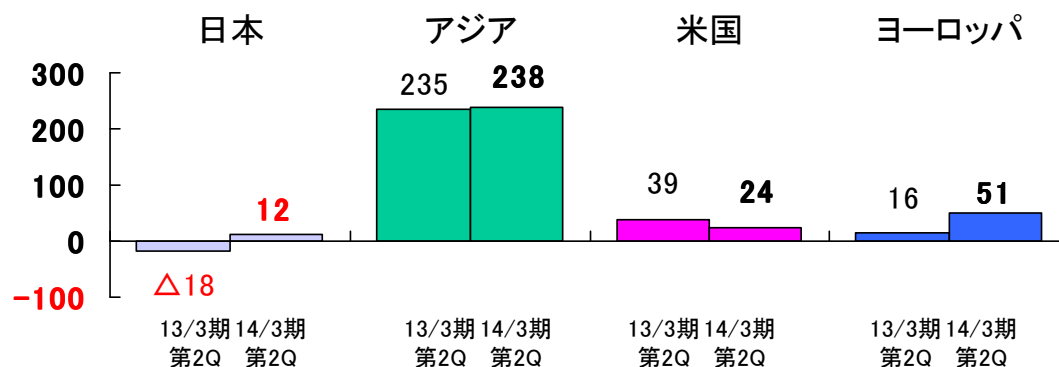
売上高

(単位: 百万円)

<前第2四半期からの変動要因>



セグメント利益



日本

- ・売上高は、プラスチック事業の売上減少に伴い減少。精密ばね事業はほぼ横ばい。
- ・精密ばね事業において、コスト削減に伴い、利益が改善し黒字化。プラスチック事業の損失をカバー。

<売上: $\Delta 7.1\%$ 、営業利益: 30百万円改善>

海外

- ・欧州は医療機器向けの売上増加により、増益。
- ・アジアは、精密ばね事業とプラスチック事業において自動車向け等の売上が増加。常州工場の生産立上げによりコストが増加したほか、タイ工場等でも固定費が増加したため、利益は横ばい。

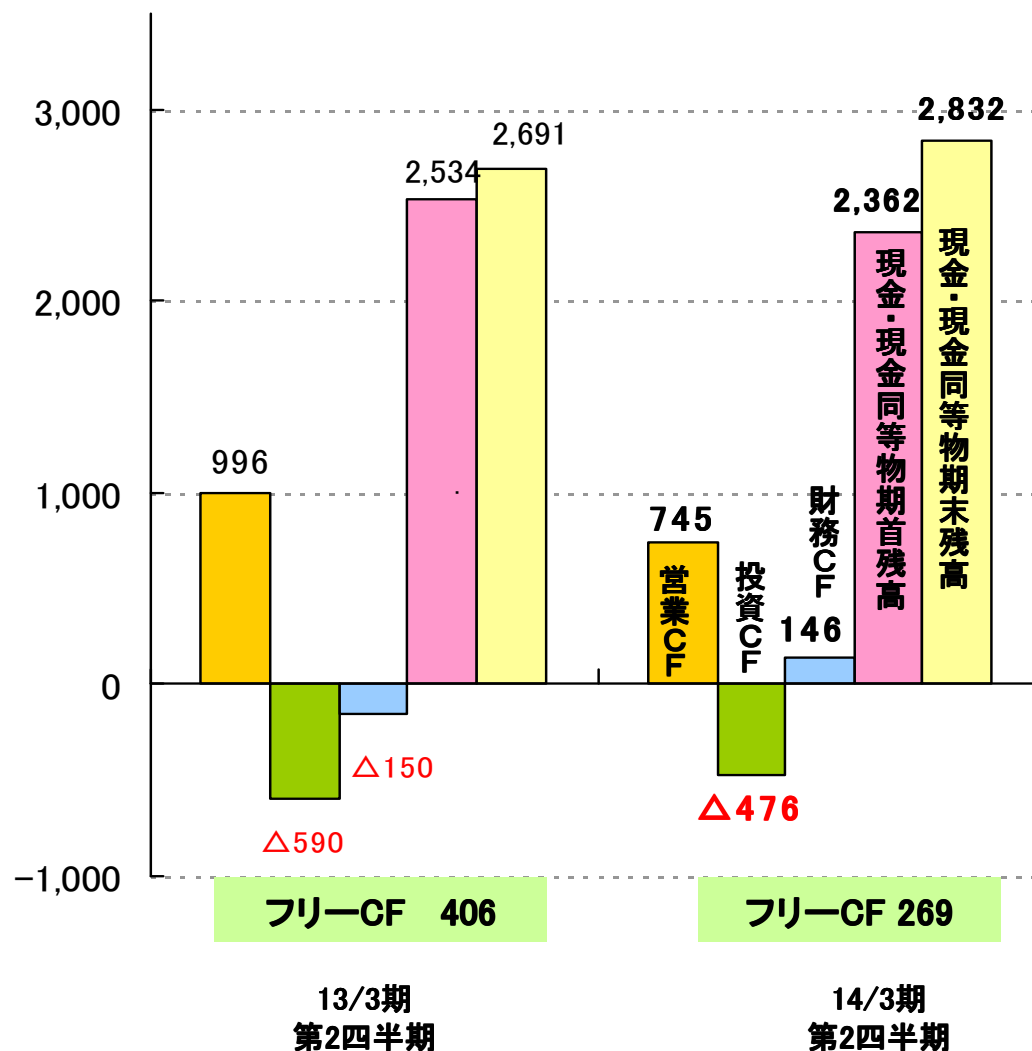
<売上: $+34.4\%$ 、営業利益: 23百万円増加>

1-7. 連結市場別売上高

(単位: 百万円)

	13年3月期		14年3月期		増減	
	上期	構成比	上期	構成比	額	増減率
OA機器	3,477	28.8%	3,577	26.8%	101	2.9%
自動車機器	4,121	34.2%	4,804	36.0%	684	16.6%
PC・周辺機器	440	3.6%	380	2.8%	△60	△13.6%
携帯情報端末	358	3.0%	250	1.9%	△108	△30.2%
AV・家電	687	5.7%	1,086	8.1%	399	58.1%
精密機器	612	5.1%	708	5.3%	97	15.6%
医療機器	352	2.9%	552	4.1%	200	56.7%
住設機器	778	6.5%	874	6.5%	97	12.4%
その他	1,231	10.2%	1,129	8.5%	△102	△8.3%
合計	12,054	100.0%	13,358	100.0%	1,304	10.8 %

1-8. 連結キャッシュ・フロー



<14/3期第2四半期の状況>

営業活動によるCF

純利益の増加、減価償却費による資金留保等により、資金が745百万円増加

投資活動によるCF

国内や中国常州工場等における設備等の投資により、資金が476百万円減少

財務活動によるCF

銀行借入金の増加により、資金が146百万円増加

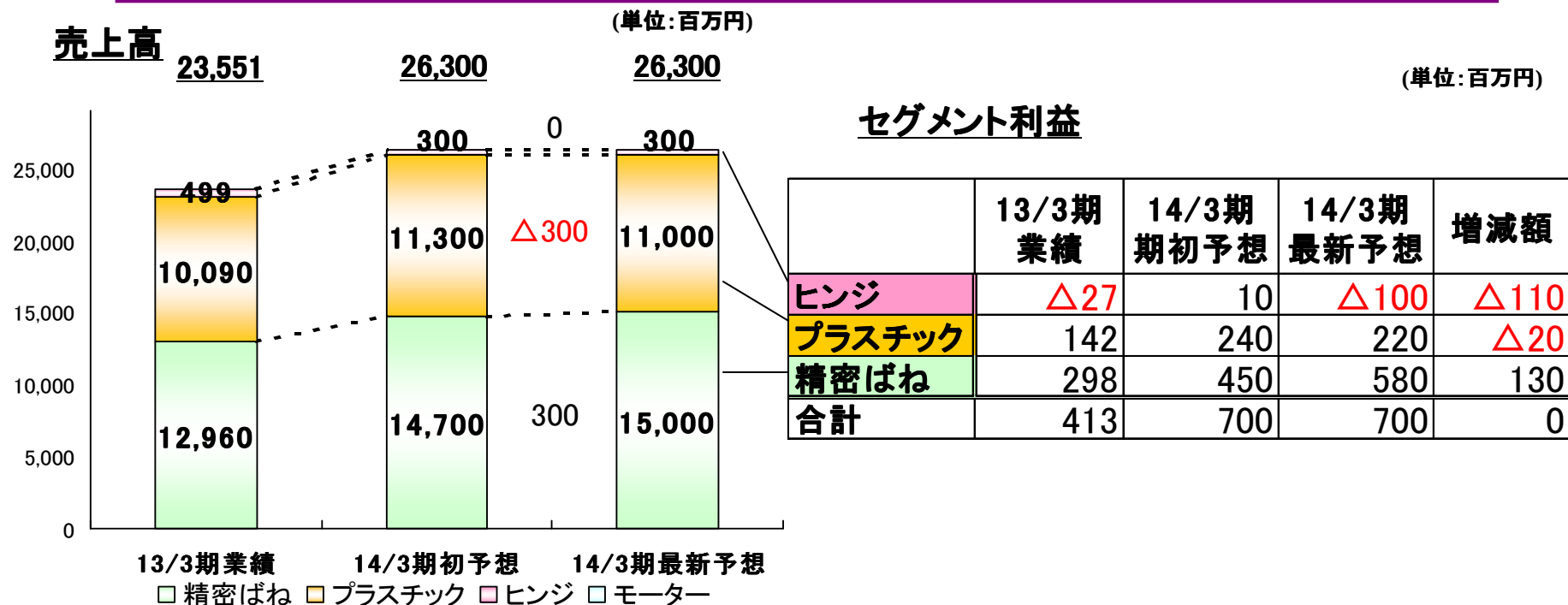
2-1. 2014年3月期通期業績予想(連結)

(単位: 百万円)

	2013年3月期	2014年3月期 通期予想	対前年比 増減(率)	前回予想 (8月9日公表)	対前回計画 増減(率)
売上高	23,551	26,300	11.7%	26,300	—
営業利益	426	700	64.8%	700	—
営業利益率	1.8%	2.7%	—	2.7%	—
経常利益	542	530	△2.2%	530	—
当期純利益	478	300	△37.2%	300	—

注) 通期予想は、平成25年8月9日に公表した予想から変更ありません。なお、為替レート的前提は1米ドル95円を前提としております。

2-2. 最新セグメント予想



<変動要因>

精密ばね事業は、下期も自動車向けの売上が増加。プラスチック事業は、国内の売上減少が下期も続くものの、海外が好調維持。ヒンジ事業は、下期も上期並みで推移する見込み。



ADVANCE

(お問い合わせ先)

株式会社アドバネクス
広報IR室

TEL: 03 - 3822 - 5865 FAX: 03 - 3822 - 5873

URL: <http://www.advanex.co.jp>

